

CONTENTS

「2008年の所信」
昨年1年間の活動
新・医療制度改革
主たる事業計画
2008年の標語

情報発信 ステーション

（財）日本医療機能評価機構認定病院
（社）日本病院会 人間ドック・
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
http://www.kaneda-hp.com

「2008年の所信」



特定医療法人緑社会 理事長
金田病院長 金田 道弘

昨年の医療界は、「地域医療崩壊・病院崩壊」が現実化した1年であったと言われています。2002年以来繰り返し行われた診療報酬の引き下げに、病院勤務医師の偏在・引き揚げ・不足が加わり、経営に行き詰まる地域医療病院が全国で急増したからです。国はここに至り、地域住民の健康を支えている病院の経営不振や医師不足が、極めて深刻な状況にあることによりやく注目するようになってきました。

1月3日発行の山陽新聞によると、「次期衆院選の争点」では国民の最大関心事として、実に65%もの人が社会保障制度を挙げています。このような事実と共に、地域医療は決して大病院と診療所だけでは成り立たないという現実、国はもっと真摯に目を向けて欲しいと願います。

厳しい医療環境の中ではありませんが、私ども特定医療法人緑社会は皆様のお力添えをいただき、昨年1年間さまざまな挑戦をいたしました。

◎ 県北第2番目の「DPC準備病院」として国に対し手挙げをし、地域の急性期医療を担っていく決意を新たにしました。（DPC：診断群分類別包括評価制度）

◎ 真庭及び新見地域において、r t p Aによる急性期脳梗塞治療が唯一可能な医療機関として、実績を上げることができました。

◎ 真庭・津山・新見各消防・救急隊との24時間ホットライン（救急隊と当院医師との直通電話）を開設し、地域の救急医療に大変

特定医療法人緑社会 理念

奉仕
仁愛
誠実
研鑽
調和

金田病院 理念



- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「亜急性期医療」、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々とゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づいた公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者さまの選択に基づいて行います。

有効に機能しました。昨年も真庭保健医療圏内で、最も多くの救急車を受け入れました。

◎ 一昨年の病院機能評価・更新審査（ver. 5）で最高得点をいただいた教育委員会活動は、昨年も院内勉強会等を積極的に行い、さらに充実した内容となりました。

◎ 救急医療、栄養サポートチーム（NST）、褥瘡ケア、緩和ケア等の「チーム医療」を精力的に実践しました。

◎ 予定した全身麻酔手術は、100%麻酔科専門医の管理のもと安全な麻酔を行いました。

◎ 電子カルテシステム（株）ソフトウェア・サービスのe-カルテシステムは、導入5年目を迎え、おかげさまで順調に稼働しました。

◎ 金田病院ホームページ上に、「病院統計」を積極的に情報開示しました。

◎ 新入院数、外来数、救急搬入数のいずれも、今までで最も多い一年でした。一方、平均在院日数は地域の医療機関等との相互信頼に基づく連携により、最も短くなりました。

◎ 当初の夢はかなわなかったものの「地域医療支援病院」に向けて全員で努力し、医療連携を行なう上で貴重な財産となる多くのことを学ぶことができました。

◎ （社）岡山県病院協会・真庭支部会が、真庭市内の全8病院長のご賛同をいただき、12月に定例会として正式に発足しました。一層の医療連携を目指します。

◎ 「落合・三病院長会」は、旧落合町内の落合・河本・金田の三病院長の情報交換と親睦の会として発足し昨年5周年を迎えましたが、引き続き毎月開催することができました。

1年間を振り返ってみる時、激動の医療界にありながら、おかげさまで堅実な経営と健全な組織運営を行うことができ、その結果として私たちが目指す「安心医療」にさらに1歩近づくことができたように思います。

地域の皆様のあたたかいご支援に深く感謝申し上げますと共に、全職員と関連企業の皆様が昼夜を問わず、時にはご家庭を犠牲にしてまで、高い理想に向かって地域医療に誠心誠意ご尽力くださった賜物であり、感謝の念にたえません。

本年4月、国は今後急増する高齢者医療費対策として、新・医療制度改革をスタートします。一昨年の医療法改正に基づき、各都道府県が策定を進めてきた新たな医療計画がいよいよ実行されることになりました。「医療界の平成維新」ともいえる大改革の始まりです。

国が提示する3つの課題

1. 量的管理から質を評価する医療計画へ
病床数の量的管理から、医療連携・安全管理（医療の質）を評価する医療計画へ変わります。

2. 住民・患者に分かりやすい医療計画へ
県内各医療機関の医療機能情報がインターネット等で住民に公表されるようになります。その結果、住民が受診する医療機関を選択できるようになります。医療機関には、医療機関相互の協力と切磋琢磨が強く求められます。

3. 数値目標を示し評価できる医療計画へ

生活習慣病対策、医療機能の分化・推進、平均在院日数の短縮等、それぞれの課題に対し5年後の達成目標数値が設定されます。5年後には目標数値に対する結果が評価され、結果が出せなかった場合はペナルティーが課せられます。医療費の適正化（伸びの抑制）が狙いです。

国が示す具体的な内容

- ◎ 4 疾病（脳卒中、がん、急性心筋梗塞、糖尿病）・5 事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）の岡山県内の医療連携システムの構築（脳卒中は優先策定）
- ◎ 特定健診・特定保健指導の導入
- ◎ 後期高齢者医療制度の創設
- ◎ DPCをはじめとする包括払い制度の拡大等による医療費の抑制
- ◎ 平均在院日数の短縮
- ◎ 療養病床の削減
- ◎ 地域連携パスの推進
- ◎ ジェネリック医薬品の使用促進等が挙げられます。

2008年の
当法人の主たる事業計画

- 第1に、国が重点項目として掲げている4疾病と、5事業のうちの1事業、すなわち、①脳卒中、②がん、③急性心筋梗塞、④糖尿病の4疾病と、⑤救急医療、そして⑥健診体制の6点について、新医療制度対応推進委員会（仮称）を立ち上げ、当法人の機能をフルに発揮できるシステムを構築します。
- 第2に、医療機能の分化・推進のための医師の確保・補充に全力を尽くします。
- 第3に、岡山県内及び地域の各連携医療機関との間に、相互信頼に基づく強固な連携体制を築きます。
- 第4に、DPC実施病院に向けての資料作成と共に、来年実施病院になった時に備えて必要な体制整備を行います。
- 第5に、高い公益性を担う医療法人として新たに創設される「社会医療法人」制度について引き続き検討します。

第6に、医療療養病棟に関して、3年後に施行される新しい施設基準に向けた体制の整備を行います。

第7に、多忙を極めている医師の効率的な業務の遂行を目指し、医師の補助業務を行う医療秘書の要員確保・配置を行います。

2008年の標語

「選ばれる
時代に応える
信頼医療」

私たちは、経営と組織の健全性を基盤として、信頼と安心の医療提供システムを構築し、地域の皆様からも職員からも選ばれる医療機関であり続けることを目指します。その実現のために、時代の潮流に逆らうことなく、揺るぎない信念を持ち、逞しく生きてまいります。

皆様のあたたかいご支援に心より感謝申し上げます、2008年の所信といたします。

	診療時間	月	火	水	木	金	土 第4休診
内科	午前 9:00~12:00	① 川西 ② 海野 ③ 鎌尾	① 川西 ② 海野 ③ 杉山	① 川西 ② 担当医 ③ 1・3・5週 鎌尾 2・4週 海野	① 川西 ② 鎌尾 ③ 頼	① 川西 ② 海野 ③ 古賀 (10:30より)	① 海野 (10:30まで) 鎌尾 (10:30より) ② 古賀
	午後 2:00~ 5:30	杉山	鎌尾 杉山 (15:30より)	担当医 (16:00まで) 水島 (消化器)	頼	古賀	
循環器内科	午前 9:00~12:00	溝口			木島		木村英夫
呼吸器内科	午前 9:00~12:00 午後 2:00~ 5:00						担当医 (午後・第4土曜も診療)
糖尿病内科	午前 9:00~12:00 午後 2:00~ 4:00			担当医			
神経内科	午後 2:00~ 5:30				宮石		
腎臓内科・透析科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~ 4:00			浪越			
泌尿器科	午後 2:30~ 5:30				木村高博		
外科	午前 9:00~12:00	松本	松本	三村卓司 (10:00まで)	金田	金田	三村卓司
	午後 2:00~ 5:30	金田 (甲状腺)	手術	手術	三村卓司	松本 (乳腺)	
脳神経外科 (脳・脊髄)	午前 9:00~12:00	遠部	木下	遠部	木下	遠部	遠部
	午後 2:00~ 5:30	木下	遠部		手術	木下 (脊椎・脊髄)	
整形外科	午前 9:00~12:00	坂田	坂田	/	手術	坂田	坂田 (10:30まで)
	午後	手術	手術		手術	手術	
リハビリ テーション科	午前 9:00~12:00			文野			
麻酔科 (疼痛外来)	午前 9:30~11:00		森谷				
	午後		麻酔	麻酔	麻酔		
眼科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~ 4:00					守本	
皮膚科	午前 9:00~12:00				三村茂		
リウマチ外来		毎月1回、詳細はお問い合わせください					
救急の場合	救急患者さまは、日曜、休日を問わず24時間体制で 0867-52-1191 で受け付けています ※なお水曜日の午後は、救急総括医長 木下公久医師が初期診療をいたします						

外来診療の受付は
こちらへどうぞ



0120-52-56-52

川崎医科大学 附属病院 産科	放射線科	皮膚科	泌尿器科	眼科	(麻酔科 疼痛外来)	リハビリ テーション科	救急総括	整形外科	脳神経外科	外科	内科	診療担当医																	
1月	(非常勤) 阿部公亮	(非常勤) 三村茂	(非常勤) 木村高博	(非常勤) 守本典子	(非常勤) 金澤伴幸	(非常勤) 森谷実佳	(非常勤) 文野喬太	木下公久	坂田賢一郎	木下公久	遠部英昭	村上陽昭	東田正三	榎田卓三	三村卓司	松本道柱	金田弘	木島康文	杉山暖子	頼冠名	古賀博光	溝口博喜	宮石雅八	浪越為夫	木村英夫	水島孝明	鎌尾高行	海野正俊	川西正泰